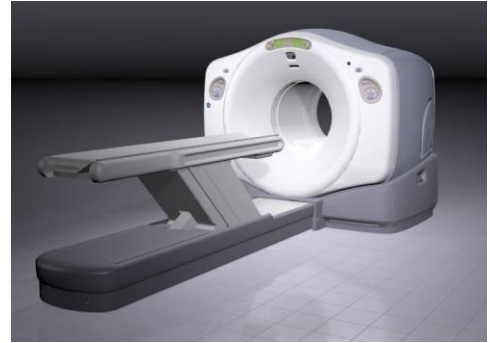


## 早期がんの発見に威力を発揮するPET/CT

平成18年7月に開院した名古屋セントラル病院では最新鋭のPET/CT装置を導入します。PETとはPositron Emission Tomography（陽電子放射断層撮影）の略で、がんの早期発見に威力を発揮する医療機器です。



(PET-CT装置)

### ●がんは早期発見・早期治療が重要です

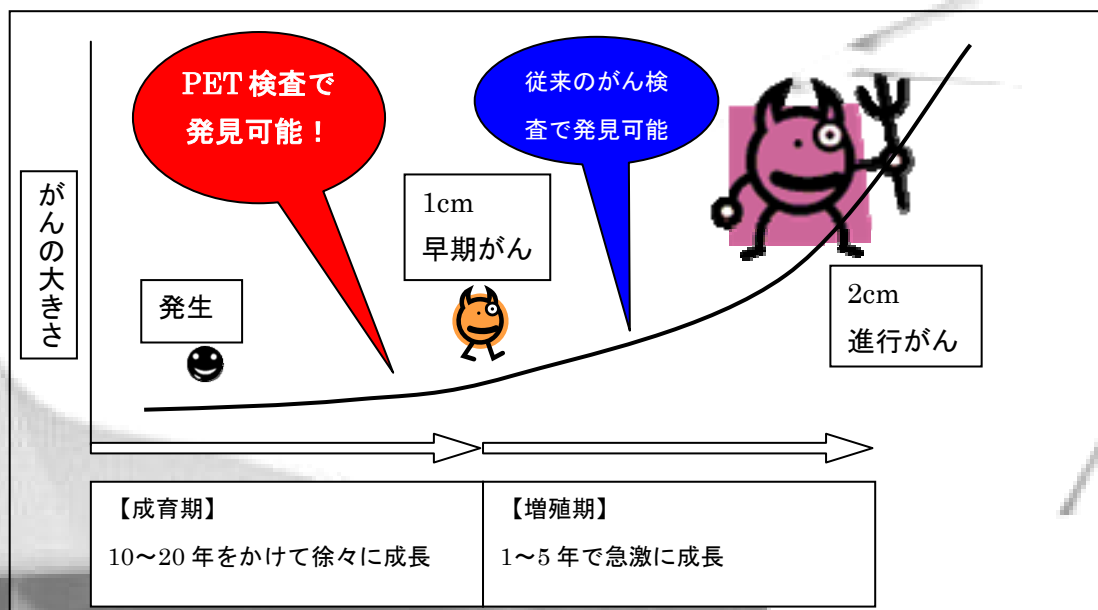
日本人の死因の第一位はがん。年間30万人の方ががんで亡くなり、30代～60代に限ると、実に2人に1人ががんで亡くなっています。

がん細胞はひとつの細胞から10年～20年をかけて徐々に大きくなり、10mmを超えると急激に増殖し、体内の他の場所に転移するリスクが高くなるといわれています。

しかし、医学の進歩により、がんが転移する前に適切な治療を行えば、完治する可能性は高くなっています。がんは早期発見、早期治療がとても重要です。

### ●PET/CTで早期がんの発見が可能です

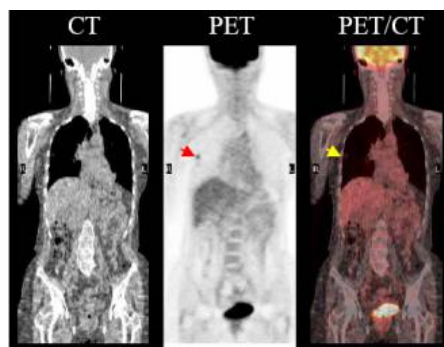
従来のがん検診では、一般的に15mm程度までのがんを発見することができますが、PET/CTでは10mm以下の全身の微小がん・早期がんを発見することが可能です。



## 短時間で全身の検査が可能です

### ●PET 検査の仕組み

がん細胞は通常の細胞に比べて、ブドウ糖を3～8倍も多く消費します。PET 検査ではポジトロン（陽電子）を含むブドウ糖（FDG）を体内に投与して、体内の集積状況を撮影、がん細胞を発見します。PET/CT 装置では同時に CT スキャンを行い、より正確にがんの位置や形状を特定します。



(PET-CT による検査画像)

### ●PET 検査は安全です

PET 検査では放射性の薬剤を使用しますが、検査に伴う被爆量は日常生活で受ける被爆量とほぼ同じ量です。検査は着衣のまま受けていただきます。検査に伴う苦痛や不快感もありませんので安心して検査を受けていただけます。

(PET 検査の流れ)

- ①がんを発見するための薬剤（FDG）を注射します
- ②薬剤が全身に回るまで60分間安静にします
- ③PET/CT 装置で撮影を行います（約30分）

### ●人間ドック、オプション検査と組み合わせて検査を受けて下さい

PET 検査は体内におけるブドウ糖の集積状況からがんを発見しますが、胃、腎臓、膀胱など正常な状態でもブドウ糖を集積する臓器のがんの発見は不得意です。人間ドックやオプション検査と組み合わせて PET 検査を受けることで、がん発見の確率を上げることができます。詳しくはスタッフまでご相談下さい。

### ●専門医師により迅速な治療を行います

もし PET 検査でがんが疑われた場合は、名古屋セントラル病院各科の専門医師が詳細な検査、確定診断を行い、速やかに治療を開始することが可能です。

- ・ 日本人間ドック学会「人間ドック・検診施設機能評価」認定施設
- ・ 日本核医学会 PET 核医学認定医 在籍
- ・ マンモグラフィ検診精度管理中央委員会画像認定「A」施設